



騎士の誇りは

なくさない

第一部

狂乱の舞



村人の身代わりとなったフレイヤは
壮絶な責苦を受ける日々を送っていた
ただ犯すことに飽きた帝国兵たちは
フレイヤに如何にして恥辱と屈辱を
与えられるかに楽しみを見出すよう
なっていた：

びくびく

う...

チャリ

くくく

シ
ニ





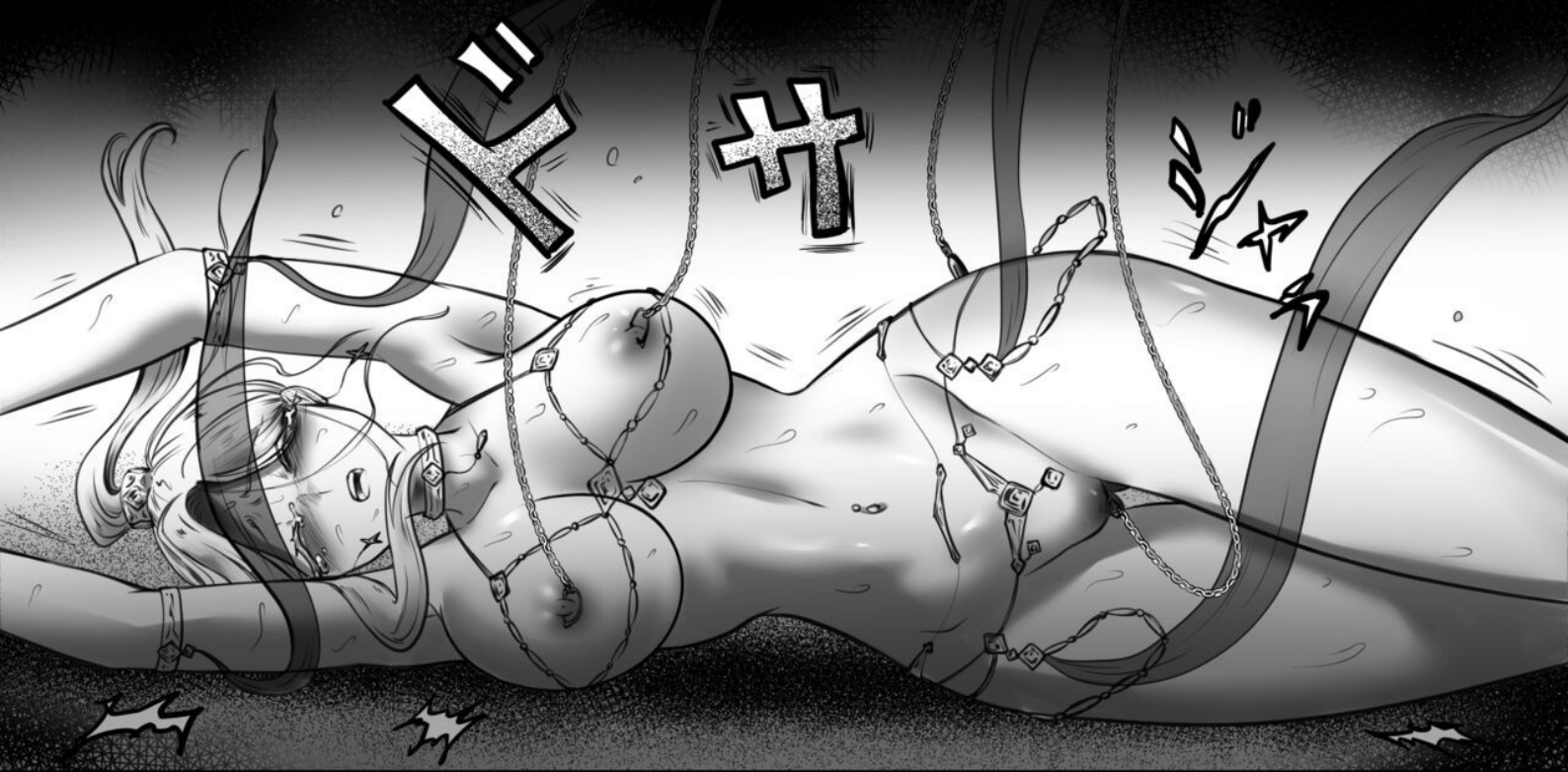


どんどんいくぞ
気をしっかり持てよ

ハハハハ！いいぞ
少しは様になって
きたんじゃないか？





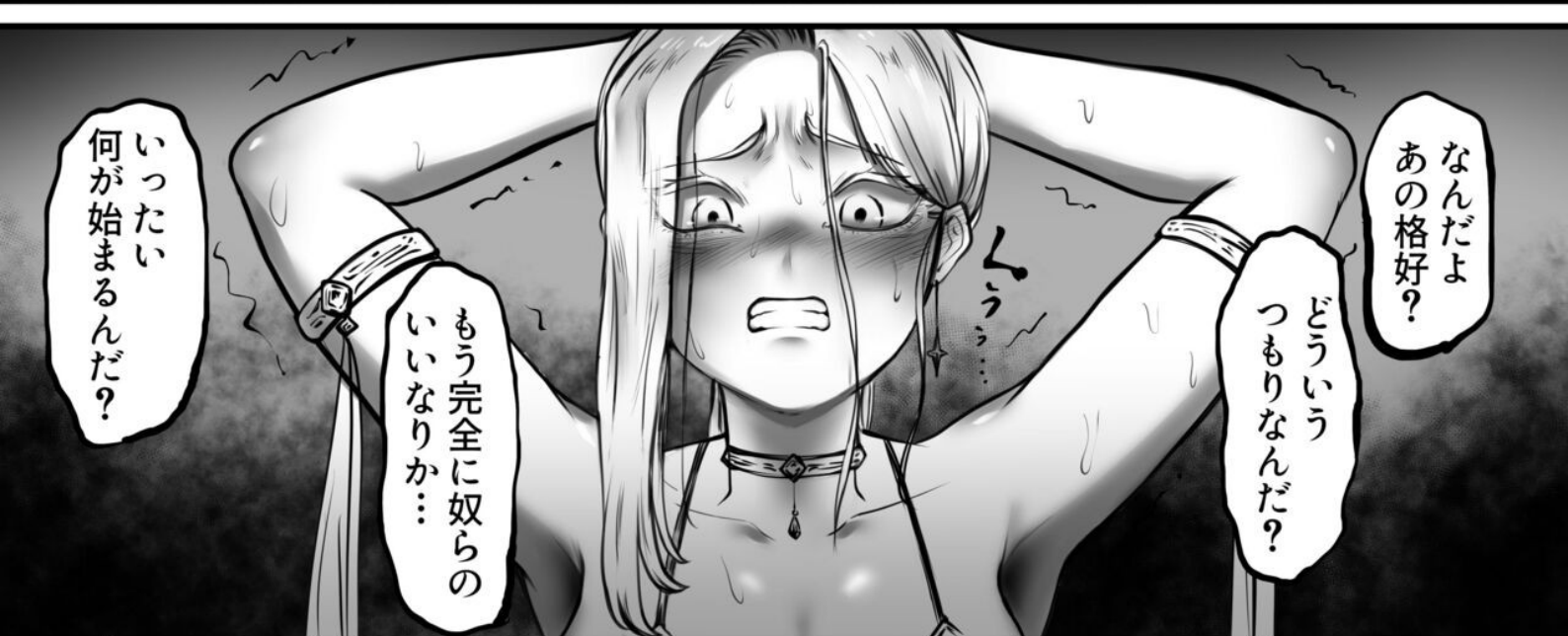
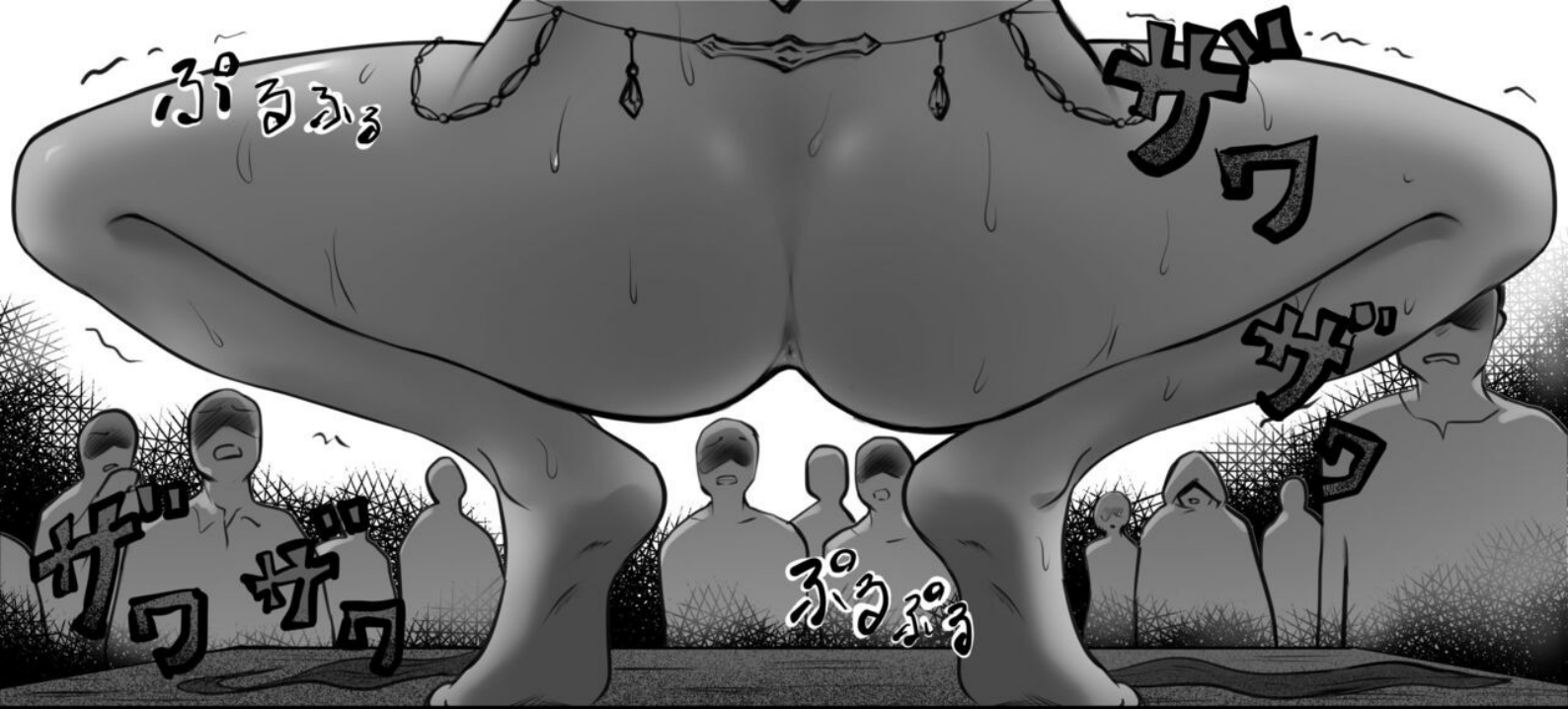


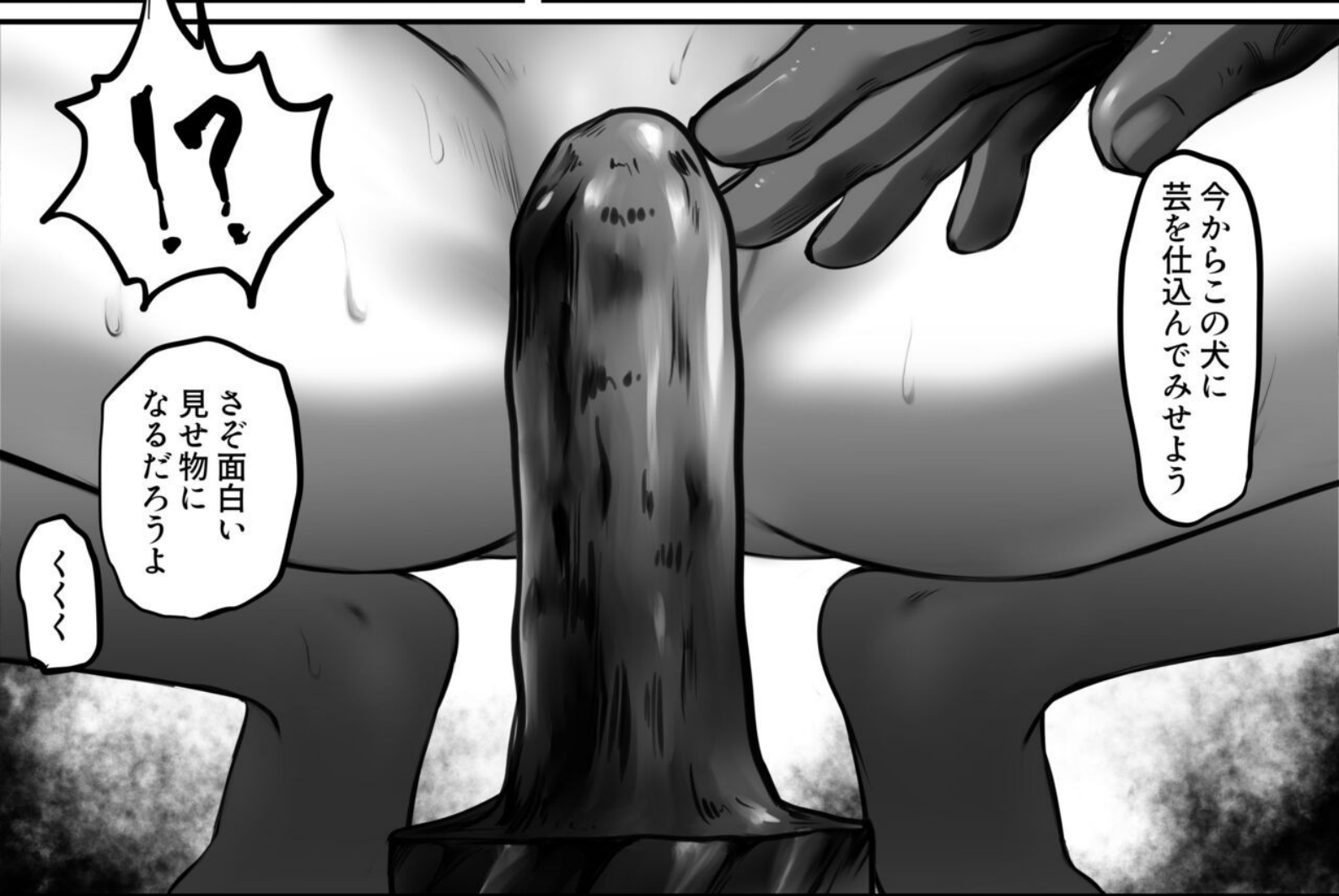
酷く無様な
踊りだったが
存外笑えたな

広場に
愚民供を
集めろ

奴らにも
見せて
やらねば

変わり果てた
騎士様の姿をなあ







なら精々
頑張る
ことだ

民に痴態を
晒してな
くくく

あ...アレは
もうイヤだ...

...？
なんだ？

何する
気だ？

嘘だろ...

あんな
ものを？

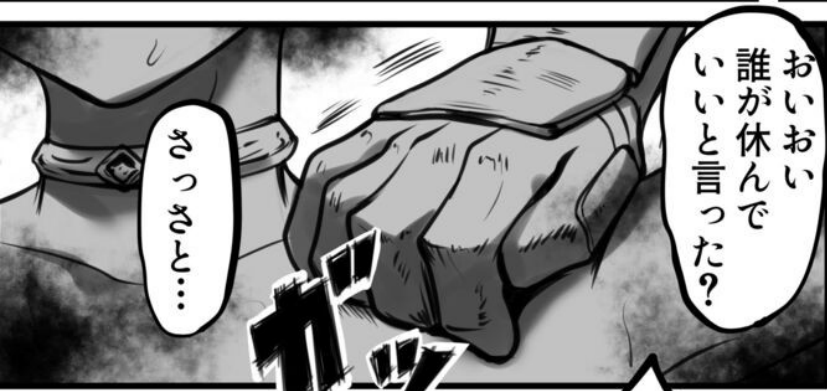
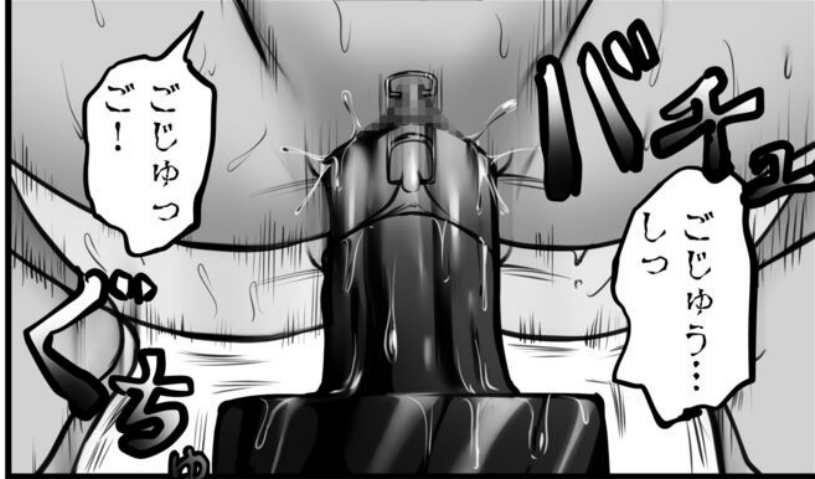
おいおい
まさか

うわっ！
ホントに
入れたぞ！

信じらんねえ...

フレイア様が
自分からあんな...







さっさと続ける！
グズが！

休むなど
言ってるだろ！



おき！！





忘れては
おるまいな？

ところで…
失敗した時は
どうなるか…



使えん犬だ

やれやれ
この程度の芸も
こなせんとは…



お願いします！

もうあんなの
たえられない！



なんでも…

何でも
しますから！

ま…待って
ください！
あれだけは！



いいだろう

その無様な
姿に免じて
チャンスをやろう

あ…ありがとう
ございます！

ありがとう
ございます！

ただし！



そうか
なんでも
するか…

次はちゃんと
しますから！
おねがい…

うう…
ぐすっ…



なんだ？

そ…
そんな…

民を犠牲に
するのは
嫌か？



どうやら
お前には危機感が
足らんと見える

次に命令に
背けば村の者を
半分殺す



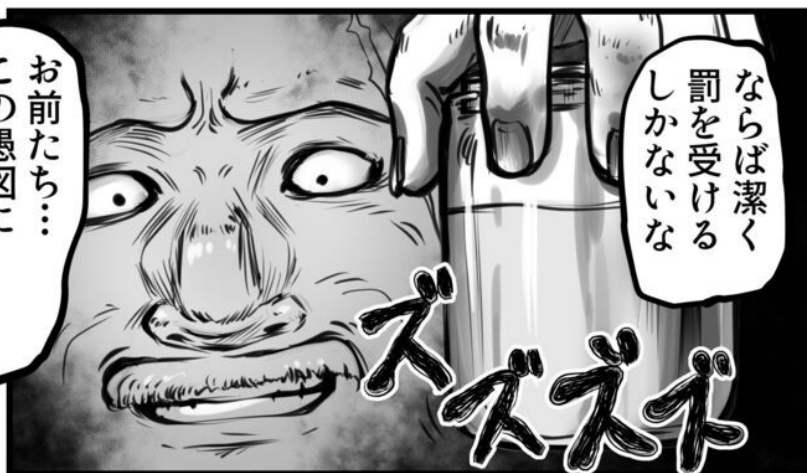
待って！

あッ

お前たち…
この愚図に
これを塗

まッ

わかりました！
やります！
やらせて
ください！



ならば潔く
罰を受ける
しかないな

ズズズズ



素直に罰を
受け入れてくれよ…
騎士なんだろ

フレイア…
いやアイツが
命令を聞け
なかったからって
なんで俺たちが…

俺たちを守るのが
騎士の務め
じゃないのかよ

ふッ
ポッ



どうい
うことだ？

できなかったら
俺たちが
殺されるだって…

そんな！

私たち何も
してないのに！

ザッ

ザッ

ザッ



本当はただ
イキただけ
なんじゃないのか？

なっ！

ちがう！
わたしは…！



ちがう…
うがうのに

なぜ…？
私は民を
たすける
ために…

そのため
だけに…
たえて
きたのに…



いつまで
休んでいる！
さっさと
始める！

奴らの命が
かかっているんだ

必死にやれよ
ククク



逃げよう
などと思うなよ
一人でも逃げれば
全員あの世へ
送ってやるぞ！



ザッザッ

ワイワイ

動くな！
今すぐ
死にたい
のか？

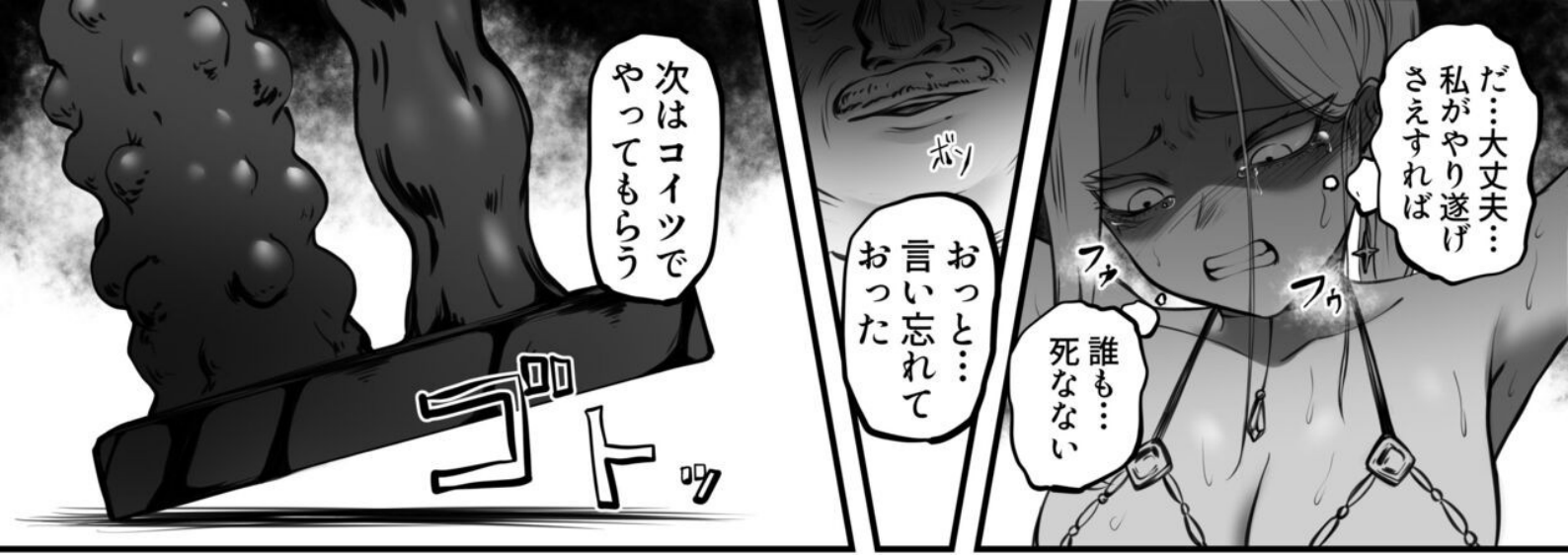
たのむ…
助けてくれ！

そんな…
死にたくない！

大人しく
している！

いやだ…

こんなの
あんまりだ！



次はコイツで
やってもらう

おっと…
言い忘れて
おった

誰も…
死なない

だ…大丈夫…
私がやり遂げ
さえすれば



一度命令に
背いているんだ

なんのお咎めも
なしとは
いかんだろう？

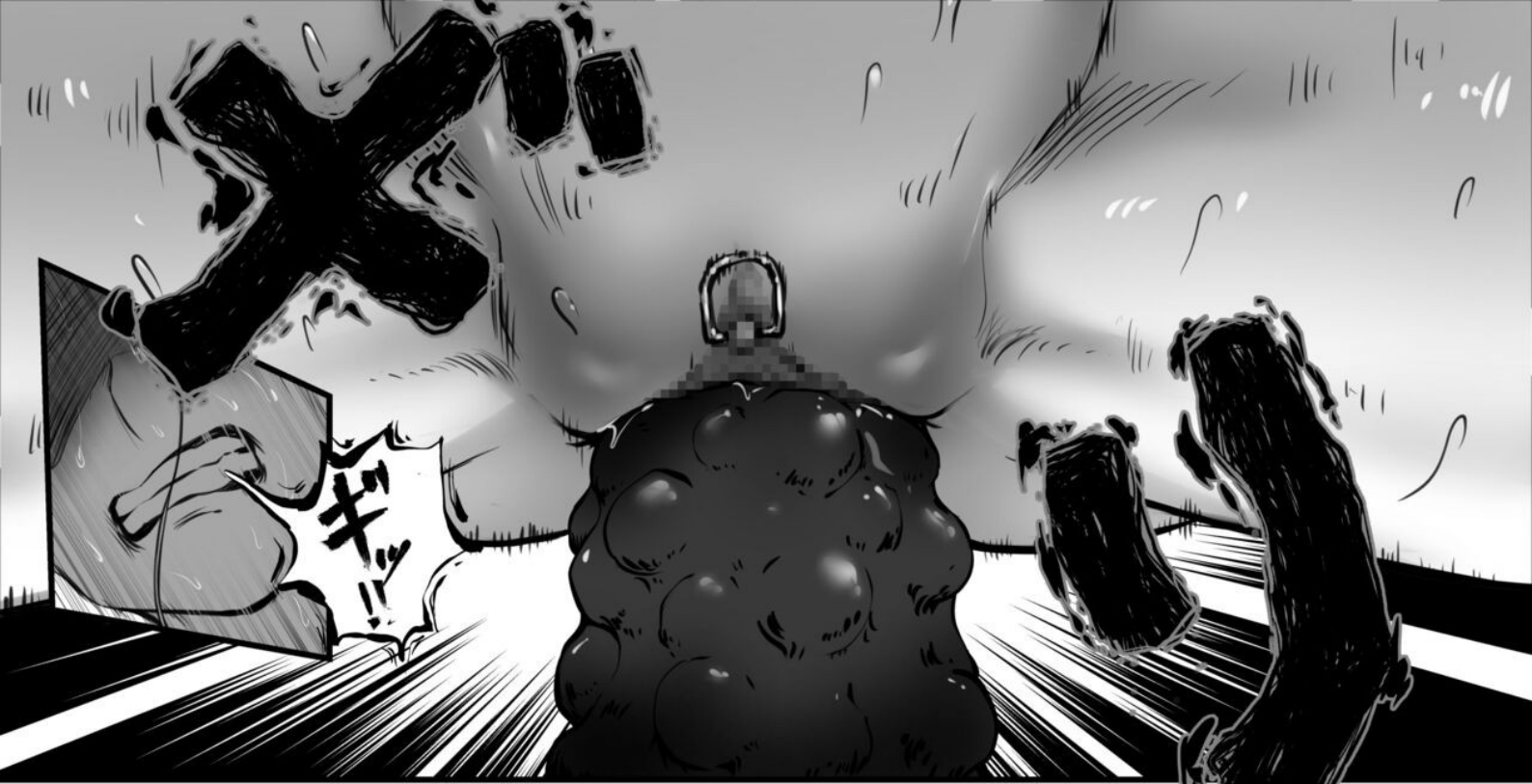
これ…
を？

急ぎ鍛冶師に
作らせたんだが
少々荒い作りに
なってしまったな…

まあ先ほどあれだけ
よがっていたんだ…
問題なかろう？

ゴゴゴゴゴゴ







手伝って
やろう



やれやれ：
拉致があかん



待って！
お願い！









疫病神が！



よっ良かった！
生きて…



さっきは
ああするしか…

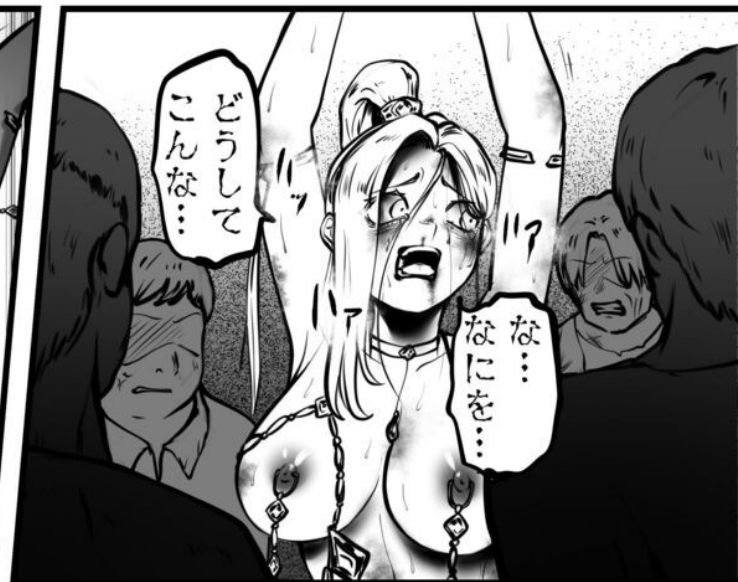
この…



み…
みんな…



この！
売女め！



どうして
こんな…

な…
なにを…



何故だと！？

散々よがり
散らしておいて！
よくもそんな
ことが言えるな！



お前がいなければ
俺たちは今も
平穏に暮らせて
いたんだ!



守れもしない
くせに偉そうに
しやがって!



自分可愛さに
俺たちを
売りやがって!

お前のせいで
何人殺されたと
思ってる!



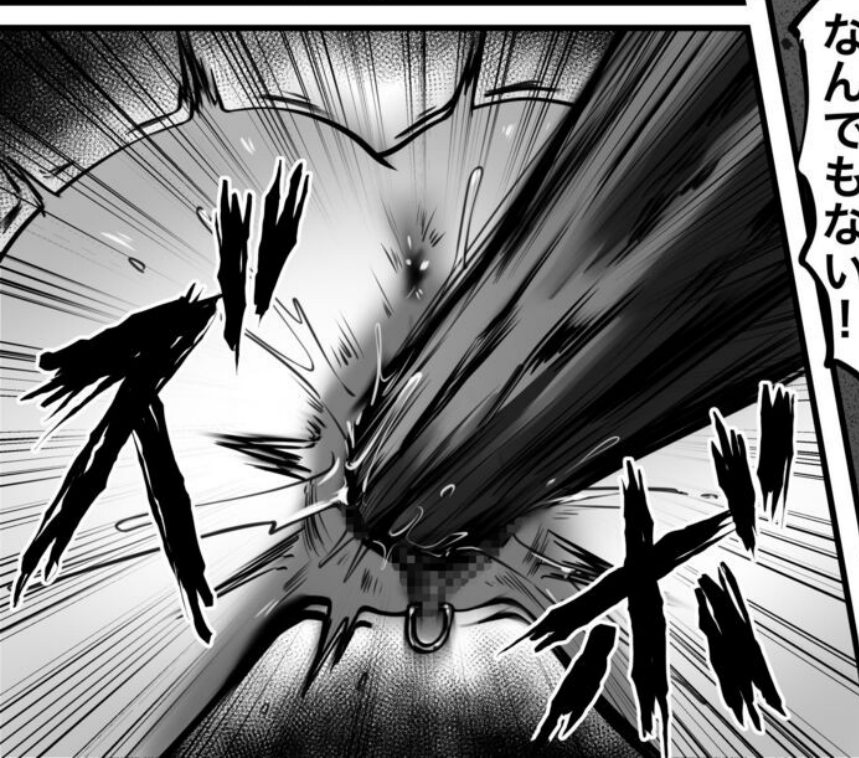
入れて
やるよ!

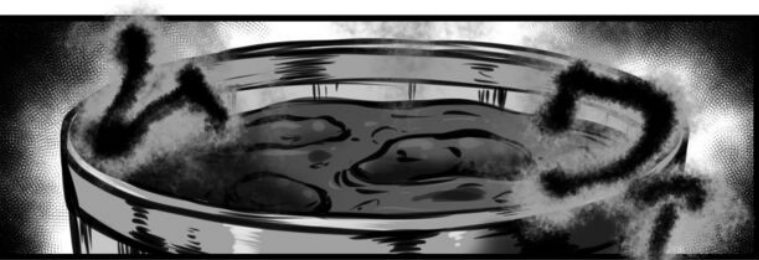
そんなに
入れるのが
好きってんなら



露出狂の
変態が!

お前なんか
騎士でも
なんでもない!



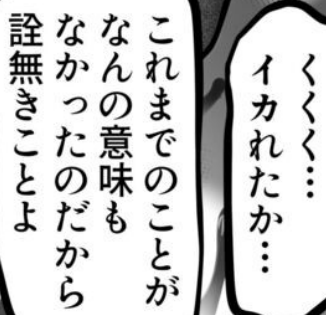






お前はずっと
守る価値のない
もののために
地獄に耐えて
いたのだ

身をもつて
理解したろう
守ってきた
者たちが
いかに卑劣で
薄汚い存在か：



明日からは
奴隸として
生きるがいい

誇りを
もってな……

しかしこれではもう遊べんか：
奴隸商人にでも
売れば幾らかには
なるだらう：

ハ ハ
ハ ハ
ハ ハ
ハ ハ
!

